



あきた企業活性化センター 令和6年度 発注動向調査結果

調査目的 県内外の発注企業の外注動向を把握することにより、県内企業の受注機会の発掘、取引促進につなげる

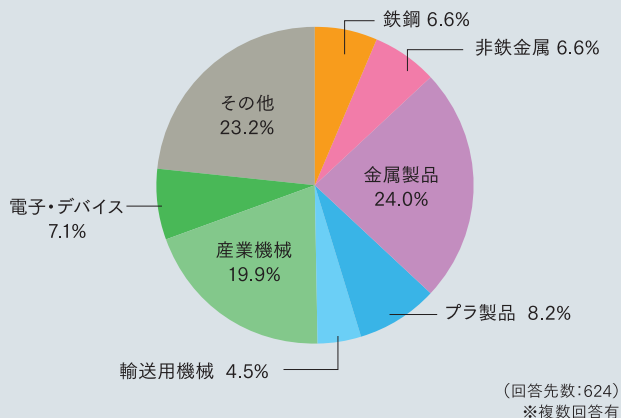
調査方法 往復はがきとWEBによる調査

調査期間 令和6年7月23日(火)～令和6年8月23日(金)

▶調査対象企業数……………3,109社(県外企業 3,018社・県内企業 91社)

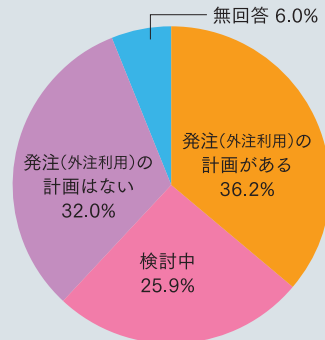
▶回答企業数……………503社(うちWEB回答132社)

① 回答企業の業種別構成比の内訳



回答のあった企業の業種別内訳は、「金属製品」が150社(24.0%)と最も多く、ほか「産業機械」124社(19.9%)、「プラ製品」51社(8.2%)などとなっている。

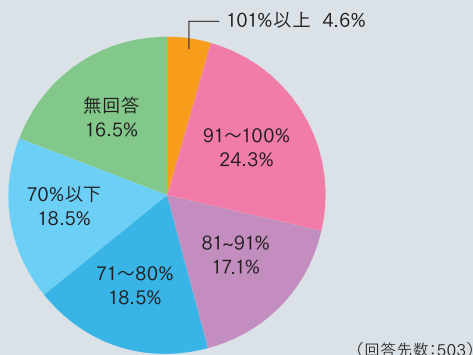
② 外注計画について



回答企業503社のうち、36.2%にあたる182社が「外注利用の計画がある」、25.9%にあたる130社が「検討中」と回答している。それに対し、32.0%にあたる161社が「外注利用の計画はない」と回答し、6.0%にあたる30社が無回答であった。

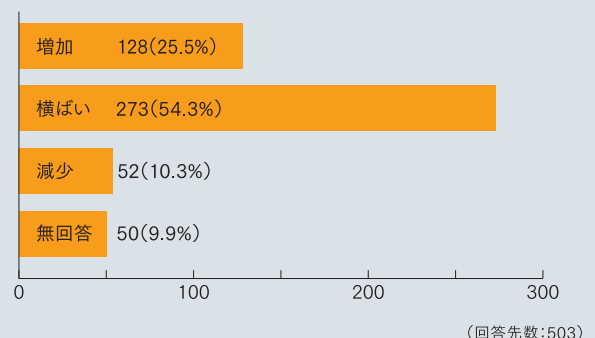
③ 最近の生産状況について

(1)現在の操業度



回答企業503社のうち、「操業度91~100%」に占める割合が最も高く、122社(24.3%)であった。前年度と比較すると、「操業度80%以下」、「操業度70%以下」に占める割合が低くなり、「操業度101%以上」、「操業度81%以上」に占める割合が上昇傾向にあり、操業度は徐々に回復基調が見受けられる。

(2)今後の生産見通し



最後に、今後の生産見通しについて尋ねたところ、「増加」と回答した企業の割合は128社(25.5%)で、前年度調査結果の24.0%よりも高い割合となっている。

また、今回最も割合が高かった「横ばい」と回答した企業は273社(54.3%)となっており、前回調査結果の58.9%より低くなっている。

※一部の設問では、複数回答・未回答があるため、回答の合計数は回収数と一致しません。

本調査にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

お問い合わせ／取引振興課 TEL.018-860-5623 FAX.018-860-5612